

■施設一覧

【22頸城】

通番	施設名	カテゴリー	建築 (設置) 年度	利用者数 (H26~28の 3か年平均) (人)	公費負担額 (H26~28の 3か年平均) (千円)
1	頸城生活支援ハウス	生活支援ハウス	H16	3,016	7,057
2	くびきひよこ園	保育園	H17	-	86,849
3	南川児童館	児童館	H17	1,255	568
4	南川保育園	保育園	S56	-	70,102
5	大瀬保育園	保育園	H5	-	106,607
6	明治保育園	保育園	H7	-	59,895
7	南川特定公共賃貸住宅	特定公共賃貸住宅	H15	89	▲ 14,286
8	頸城明治野球場	野球場	S56	578	1,960
9	くびきの森公園	中規模公園	H21	2,200	284
10	茶臼山城跡公園	農村公園	H14	-	411
11	鶉ノ木水辺の郷	農村公園	H17	-	712
12	浄念寺児童遊園	児童遊園	S51	-	134
13	下吉児童遊園	児童遊園	S51	-	149
14	市村児童遊園	児童遊園	S51	-	217
15	島田児童遊園	児童遊園	S51	-	118

通番	施設名	カテゴリー	建築 (設置) 年度	利用者数 (H26~28の 3か年平均) (人)	公費負担額 (H26~28の 3か年平均) (千円)
16	下三分一児童遊園	児童遊園	S51	-	179
17	上柳町児童遊園	児童遊園	S52	-	160
18	つつじヶ丘児童遊園	児童遊園	S52	-	278
19	手島児童遊園	児童遊園	S53	-	103
20	上三分一児童遊園	児童遊園	S54	-	101
21	望ヶ丘児童遊園	児童遊園	S54	-	100
22	仁野分児童遊園	児童遊園	S55	-	210
23	四ツ浮児童遊園	児童遊園	S57	-	98
24	大谷内児童遊園	児童遊園	S59	-	137
25	明治南最寄児童遊園	児童遊園	S62	-	111
26	榎井児童遊園	児童遊園	H1	-	100
27	下吉北児童遊園	児童遊園	H2	-	207
28	美しが丘児童遊園	児童遊園	H3	-	103
29	下米岡児童遊園	児童遊園	H4	-	100
30	下吉南児童遊園	児童遊園	H5	-	260
31	畑ヶ崎児童遊園	児童遊園	H6	-	120

通番	施設名	カテゴリー	建築 (設置) 年度	利用者数 (H26~28の 3か年平均) (人)	公費負担額 (H26~28の 3か年平均) (千円)
32	天池児童遊園	児童遊園	H7	-	101
33	上吉南児童遊園	児童遊園	H7	-	166
34	森本児童遊園	児童遊園	H9	-	159
35	両増田児童遊園	児童遊園	H9	-	119
36	下吉横江児童遊園	児童遊園	H10	-	133
37	天ヶ崎児童遊園	児童遊園	H10	-	274
38	舟津児童遊園	児童遊園	H12	-	95
39	西部児童遊園	児童遊園	H12	-	128
40	西福島二区北児童遊園	児童遊園	H13	-	149
41	西福島二区南児童遊園	児童遊園	H13	-	96
42	下吉公民館児童遊園	児童遊園	H16	-	96
43	大池いこいの森ビジターセンター	学習施設	H7	7,658	8,230
44	日本自然学習実践センター	学習施設	H14	886	4,199
45	ユートピアくびき	基幹的総合施設	H3	175,547	79,617 (1,834)
46	(頸城地区公民館)	公民館			
47	高田図書館頸城分館	図書館			

通番	施設名	カテゴリー	建築 (設置) 年度	利用者数 (H26~28の 3か年平均) (人)	公費負担額 (H26~28の 3か年平均) (千円)
48	頸城地区公民館南川分館	公民館	H11	5,787	4,286
49	頸城地区公民館西部分館	公民館	H5	2,867	1,164
50	頸城地区公民館大坂井分館	公民館	S59	1,185	1,426
51	頸城地区公民館明治分館	公民館	S52	1,089	863
52	頸城地区公民館明治南分館	公民館	H10	520	1,191
53	頸城コミュニティプラザ	コミュニティプラザ	S51	1,877	7,271
54	坂口記念館	博物館・文化歴史関係施設	H11	3,827	7,140
55	くびき食彩工房	農林水産業振興施設	H16	1,697	4,883
56	高速道頸城バス停駐車場	無料駐車場	H5	-	370

※公費負担額において、併設されている施設の負担額は、主たる施設の負担額に合わせて計上。

下段の()は、上段の負担額のうち、併設されている施設の負担額。

※農業集落排水処理施設を除く。

(資料の抽出・整理のイメージ) 2003年

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

人口・世帯に関する基礎データ集 (頸城区)

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

平成29年4月改訂
上越市創造行政研究所

本書は、本市の人口・世帯に関する基礎データを、平成29年4月現在の状況に基づき、最新のデータを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。このデータ集は、本市の人口・世帯に関する基礎データを集約・整理し、本市の人口・世帯に関する基礎データ集としてまとめた。

■ はじめに（データの定義・出所について）

このデータ集は、各地域自治区における人口・世帯数の概要をご紹介します。過去から現在までの変化や、上越市全体あるいは他の区との比較などを通じて、地域課題や今後の目標・方向性などを考えるための参考資料としてご活用ください。

なお、データの詳細な分析や二次利用などされる場合には、下記に示したデータの定義や出所にご留意ください。

○ データの出所は国勢調査が中心であり、補完的に住民基本台帳などを使用しました。

国勢調査のデータは5年おきのため少し古い情報になりますが、実際に住んでいる人の数がわかり、その内訳の把握や全国との比較などにも便利です。

なお、国勢調査と住民基本台帳ではそれぞれ人口の定義が異なるため、値には若干のずれがあります。

○ 国勢調査のデータは、2015（平成27）年が最新値です。

ただし、住民基本台帳を用いたデータ（図7・8）は現在集計中であるため、2010年までのデータを用いて作成しました。

○ 地域自治区別のデータは、町丁字（住所）単位のデータを合計したものです。

実際の地域自治区は行政区（町内会）単位で構成されているため、合併前上越市の一部の区では、実際の値と若干のずれがあります。

○ 将来推計人口は、あくまでも一つの目安であり、市の公式見解ではありません。

ある仮定条件に基づき比較的簡便な方法で推計した人口であり、実際の人口は今後の諸条件の変化や取組状況によって変わりうるものです。

特に、シナリオ①は最近の傾向が続いた場合の目安であるため、今後の地域づくりにおいてはこの状態を前提と考えるのではなく、シナリオ②で示したような目標を設定して取り組まれることを期待するものです。

○ 「年」の定義は、データの種類によって異なります。

国勢調査のデータは10月1日基準であるため、このデータ集における人口増減の対象期間は前年10月～当年9月としています。

統計によっては年度（当年4月～翌年3月）や暦年（1月～12月）を対象期間とするものもありますので、他のデータ集と比較される際はご注意ください。

○ このデータ集を加工・編集して二次利用することは避けてください。

引用される場合は、上越市創造行政研究所の作成である旨を明記してください。

人口・世帯に関する基礎データ集（頸城区）

目次

1 人口

● 区の人口はどのように変化してきたか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

- 1 総人口の推移 頸城区・上越市（1965～2015）
- 2 総人口の増減率の比較 市内 28 区（1965～2015）

● 区の人口を年齢別にみるとどうか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

- 3 年齢別人口〔3 区分〕の推移 頸城区（1985～2015）
- 4 年齢別人口〔3 区分〕の比較 市内 28 区（2015）
- 5 年齢別人口（5 歳階級別人口ピラミッド） 頸城区（2015）

2 人口増減

● どの年齢層でどのくらい人の増減があるか？

- 6 年齢別にみた人口増減 頸城区（2005～2015）

● どの地域とどのくらい人の増減があるか？ 他の区と比較してどうか？

- 7 転入・転出先別にみた人口増減 頸城区（2005～2010）
- 8 人口動態の比較 市内 28 区（2005～2010）

3 将来推計人口

● 区の将来人口はこのままのペースでいくとどうなるか？ 少し頑張るとどうか？

- 9 シナリオ① 最近の傾向が続いた場合の人口推移 頸城区（～2055）
- 10 シナリオ② 持続可能な定住促進が実現した場合の人口推移 頸城区（～2055）

4 世帯数

● 区の世帯数はどのように変化してきたか？ 上越市全体と比較してどうか？

- 11 総世帯数の推移 頸城区・上越市（1970～2015）

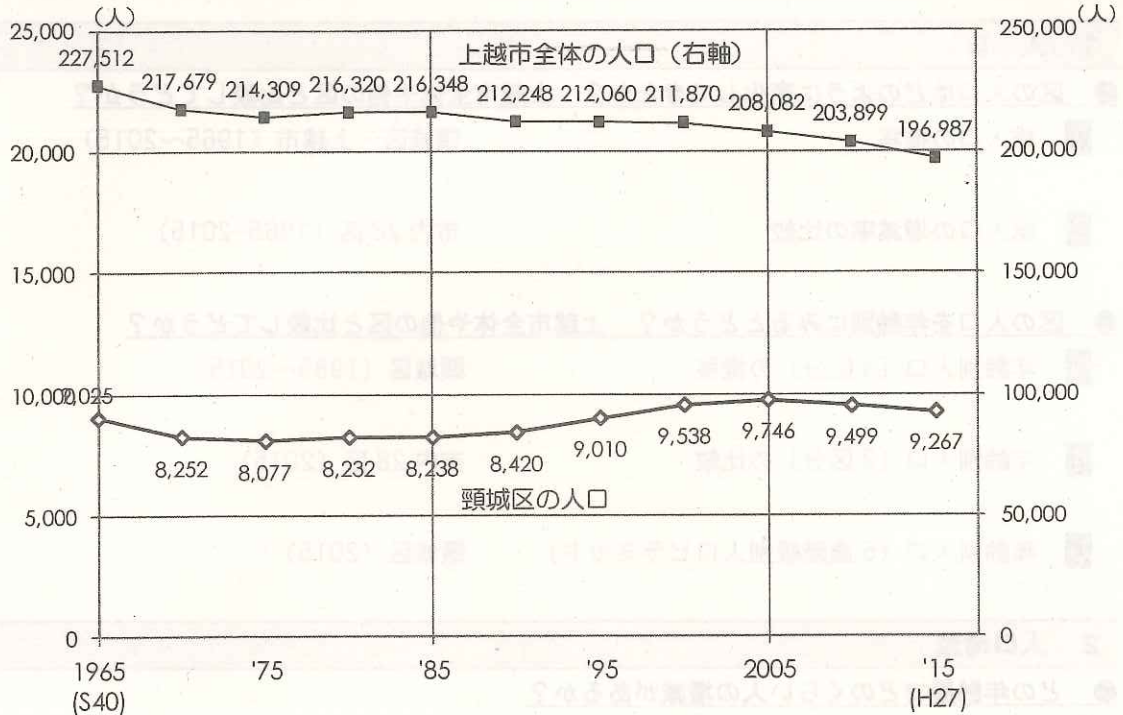
● 区の世帯構成はどのように変化してきたか？ 他の区と比較してどうか？

- 12 世帯構成の推移 頸城区（1980～2015）
- 13 世帯構成の比較 市内 28 区（2015）

1 人口

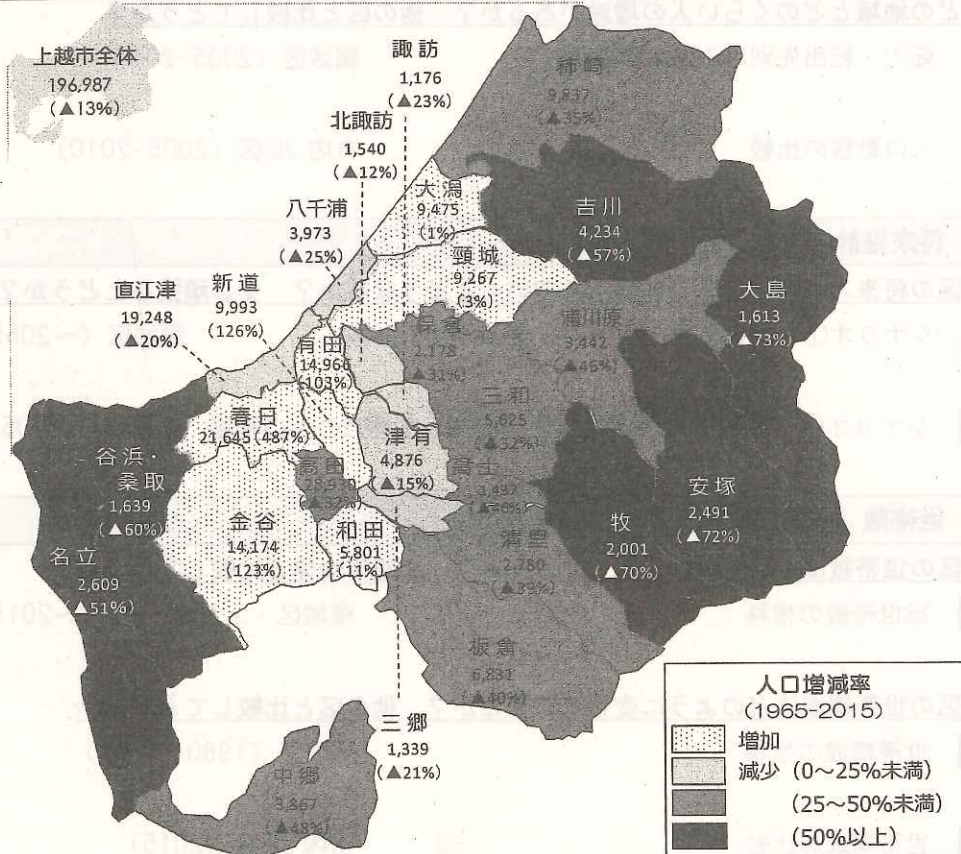
● 区の人口はどのように変化してきたか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

図1 総人口の推移 頸城区・上越市 1965～2015



資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

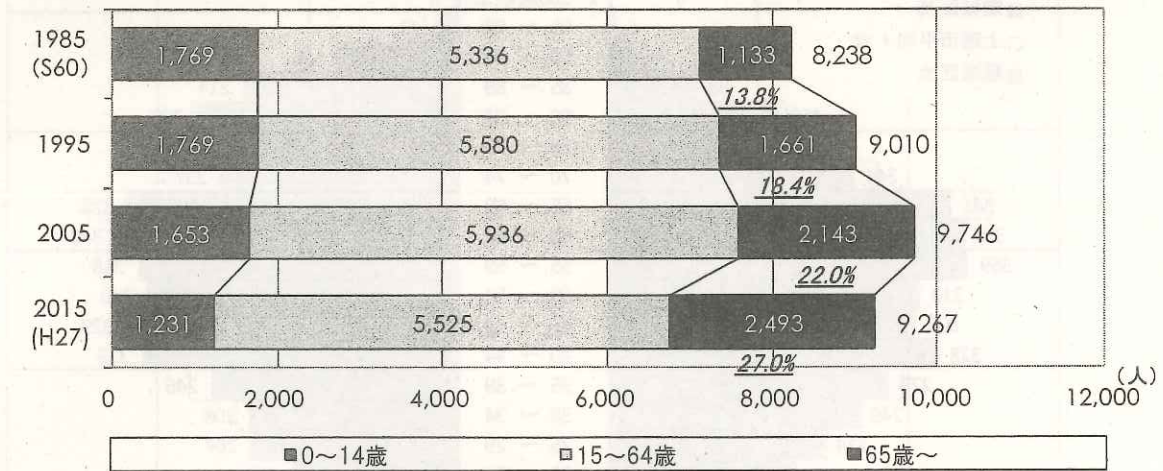
図2 総人口の増減率の比較 市内28区 1965～2015



資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

● 区の人口を年齢別にみるとどうか？ 上越市全体や他の区と比較してどうか？

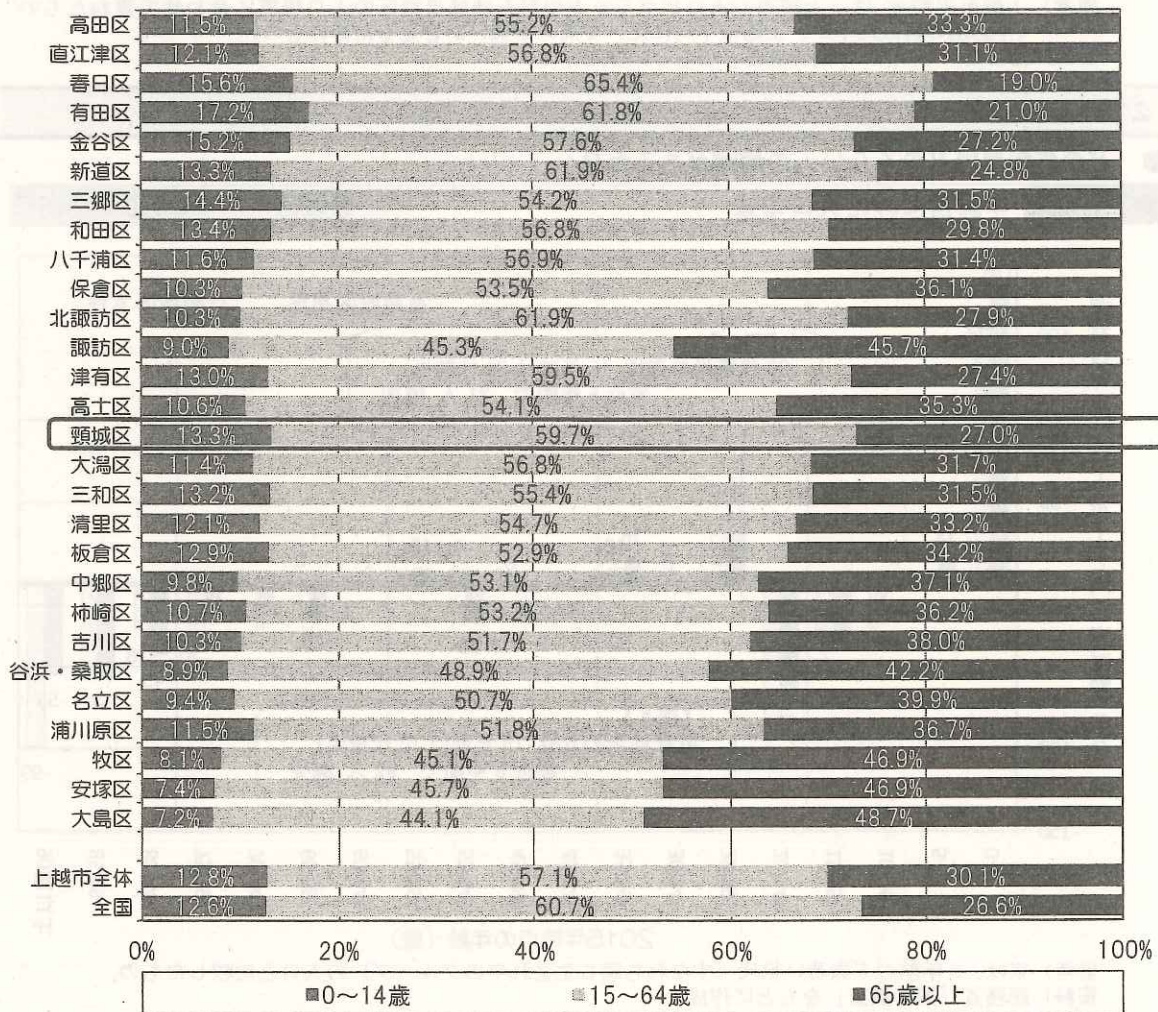
図3 年齢別人口（3区分）の推移 頸城区 1985～2015



備考) % (下線表示) は高齢化率。合計値には年齢不詳分を含む。また、集計方法の制約上、数人程度の誤差が生じる場合もある (小地域集計の秘匿計算によるもの)。

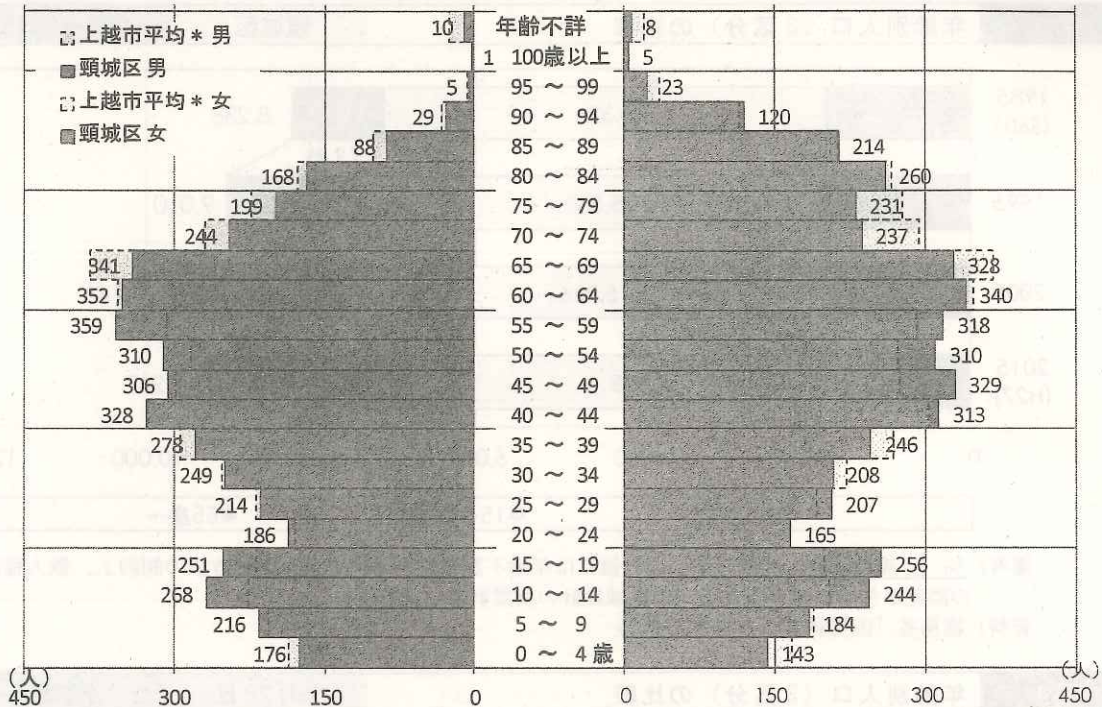
資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

図4 年齢別人口（3区分）の比較 市内28区 2015



資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」をもとに作成

図5 年齢別人口（5歳階級別人口ピラミッド） 頸城区 2016

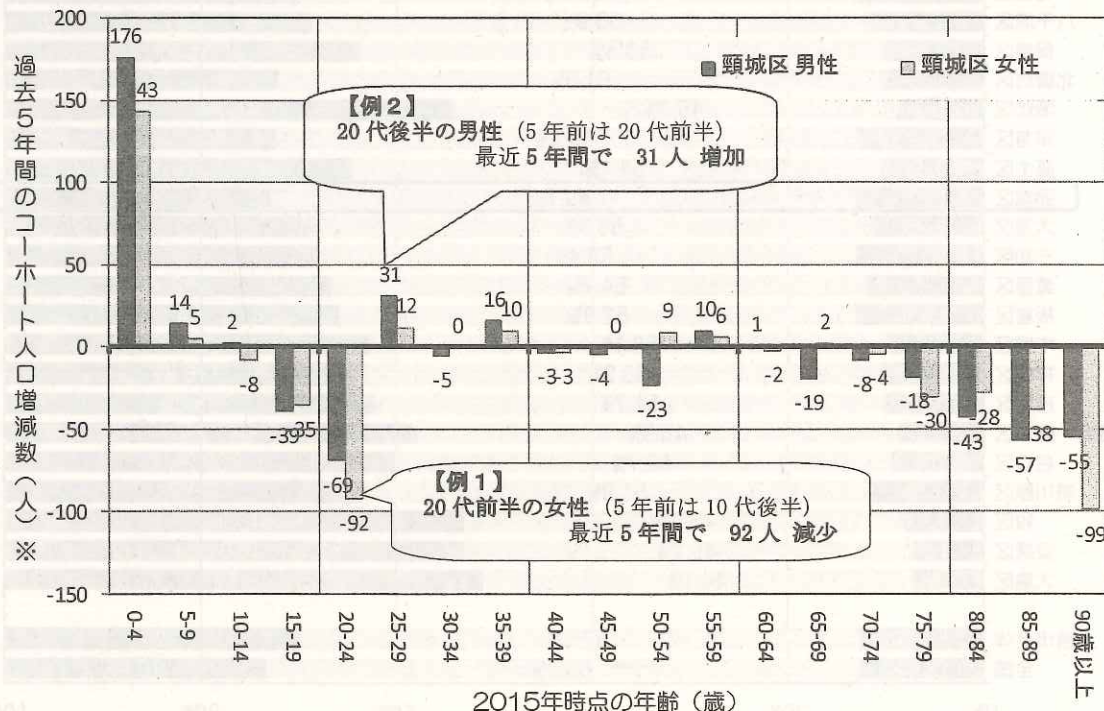


備考) 上越市平均* は、上越市の人口ピラミッドの形を地域自治区の人口規模に合わせて重ねたもの
 (年齢別の構成比率が、上越市平均に比べて高いか低いかを見るためのもの)
 資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」をもとに作成

2 人口増減

● どの年齢層でどのくらい人の増減があるか？

図6 年齢別にみた人口増減 頸城区 2010-2015



備考) ※は、5年前の5歳若い世代（すなわち同じ生まれ年のグループ）の人口と比較したもの。
 資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

● どの地域とどのくらい人の増減があるか？ 他の区と比較してどうか？

図7 転入・転出先別にみた人口増減

頸城区 2005-2010

	転入	転出	差引
[県外]	344	472	▲128
北海道・東北	12	25	▲13
関東	179	274	▲95
長野県	35	33	▲2
中部(長野以外)	59	72	▲13
西日本	37	27	▲10
国外	22	41	▲19

	転入	転出	差引
[合併前七区]	558	641	▲83
高田	53	53	0
新道	22	37	▲15
金谷	17	32	▲15
諏訪	1	12	▲11
和田	4	20	▲16
津有	14	19	▲5
春日	79	97	▲18
三郷	6	5	▲1
高士	8	9	▲1
直江津	115	126	▲11
有田	142	156	▲14
八千浦	56	44	▲12
保倉	17	21	▲4
北諏訪	17	9	▲8
谷浜・桑取	7	1	▲6



	転入	転出	差引
[県内]	234	235	▲1
下越(新潟市等)	90	113	▲23
三条・燕園	7	7	0
長岡園	27	33	▲6
柏崎園	10	18	▲8
魚沼・十日町園	40	16	▲24
妙高市	39	32	▲7
糸魚川市	21	16	▲5
佐渡市	0	0	0

	転入	転出	差引
[旧13町村]	629	548	▲80
安塚	33	8	▲25
浦川原	20	13	▲7
大島	11	5	▲6
牧	3	1	▲2
柿崎	30	39	▲9
大湊	93	61	▲32
頸城	376	376	0
吉川	25	12	▲13
中郷	6	5	▲1
板倉	12	10	▲2
清里	0	4	▲4
三和	14	11	▲3
名立	5	3	▲2

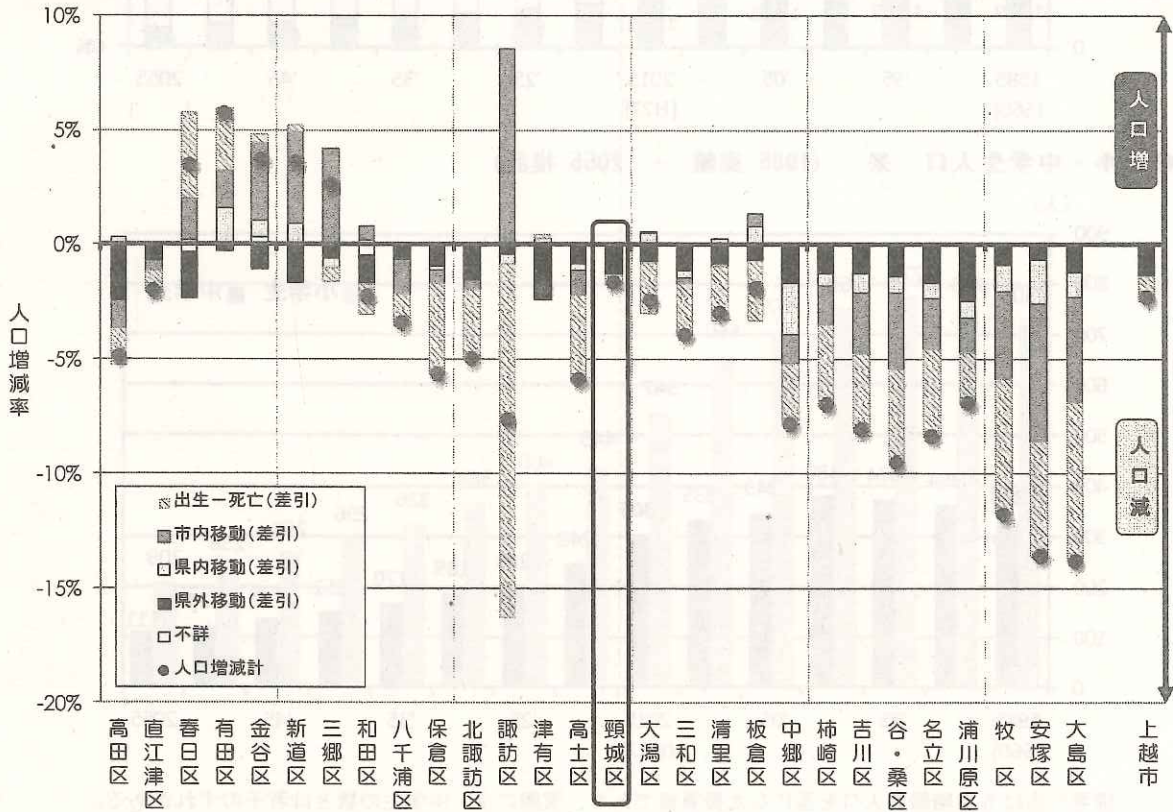
合計	
転入	1,776
転出	1,905
不詳	1
社会動態	▲128
(転入・転出先不明分を含む)	
参考	
出生	370
死亡	409
自然動態	▲39

※ 転入・転出の値には職権記載・消除分を含む。

資料)「新潟県人口移動調査結果報告」及び上越市住民基本台帳データをもとに作成

図8 人口増減の比較

市内28区 2005-2010



資料)「新潟県人口移動調査結果報告」及び上越市住民基本台帳データをもとに作成

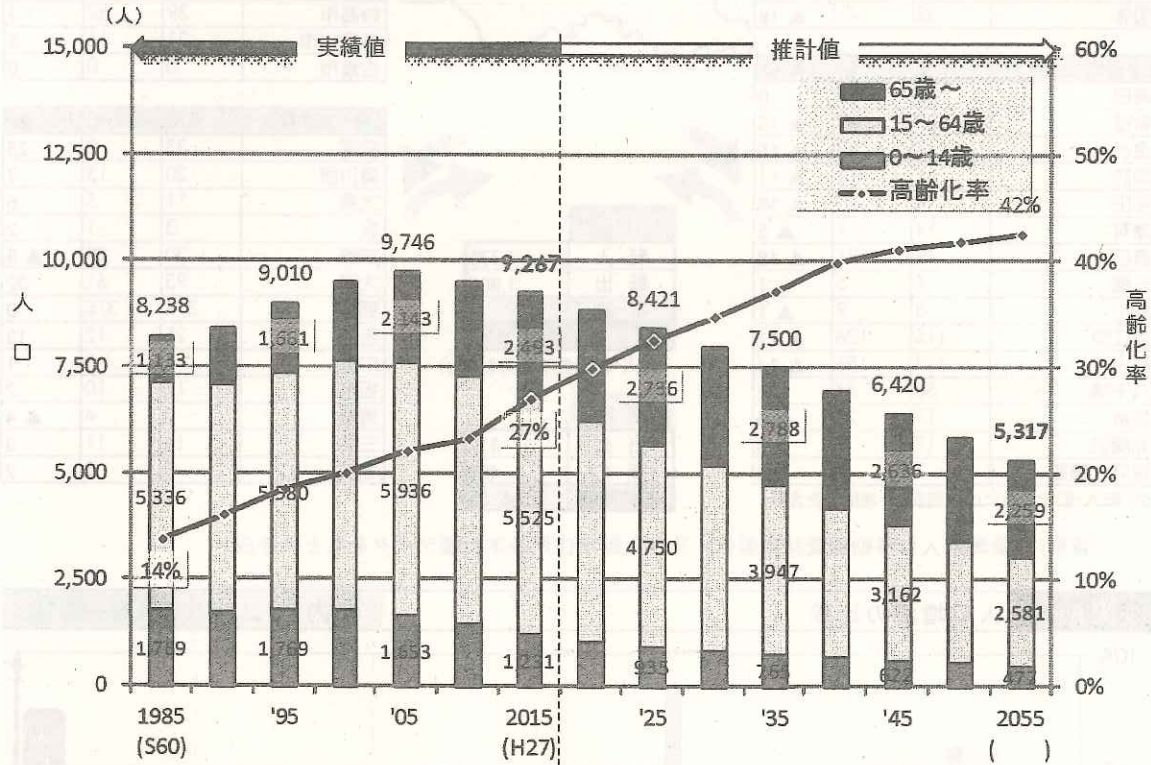
3 将来人口推計

● 区の将来人口はこのままのペースでいくとどうなるか？ 少し頑張るとどうか？

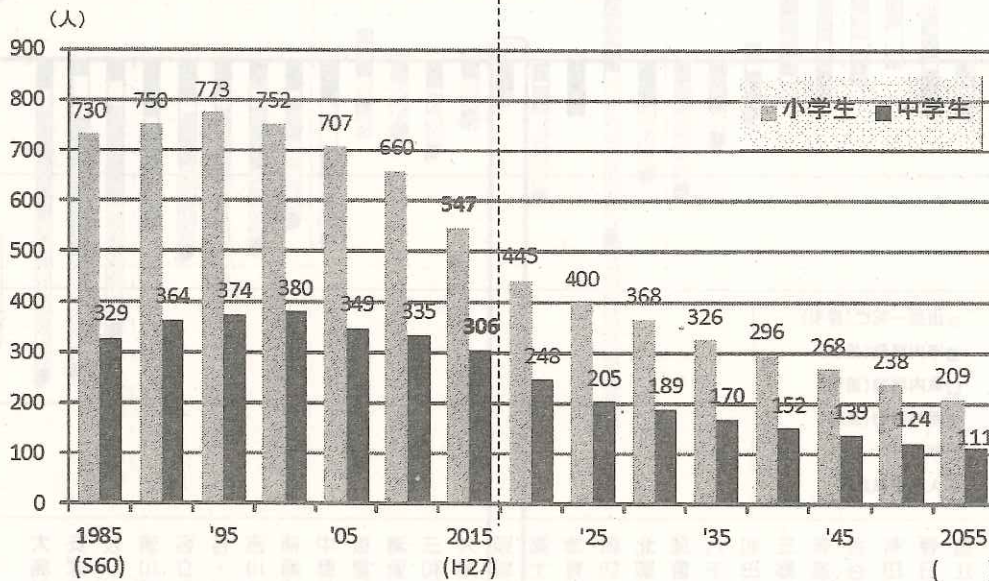
図9 シナリオ1 最近の傾向(※)が続いた場合の人口推移 頭城区 ~2055

※ 年齢別人口増減(図6)の2005~15年における割合が今後も続くものとして推計

● 年齢3区分別 (1985実績 - 2055推計)



● 小・中学生人口 ※ (1985実績 - 2055推計)



備考) ※は5歳階級別人口を基にした概算値であり、実際の小・中学生の数とは若干のずれがある。
資料) 総務省「国勢調査」及びコーホート変化率法による推計値をもとに作成

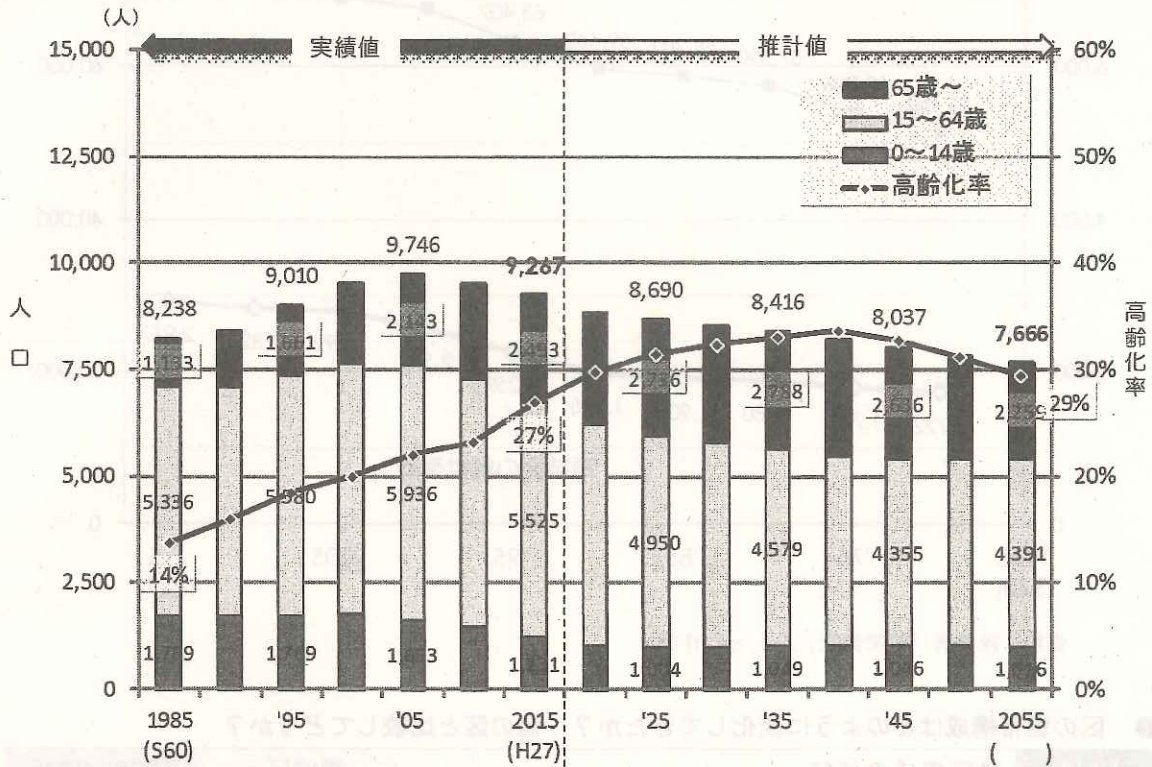
図10 シナリオ2 持続可能な定住促進(※)が実現した場合の人口推移 頸城区 ~2055

※ 子どもの数の減少傾向が止まり、将来的には総人口や世代間の人口バランスが安定する状態を目標に設定。2020年以降、その達成に向けて以下の動きが実現した場合を想定して推計。

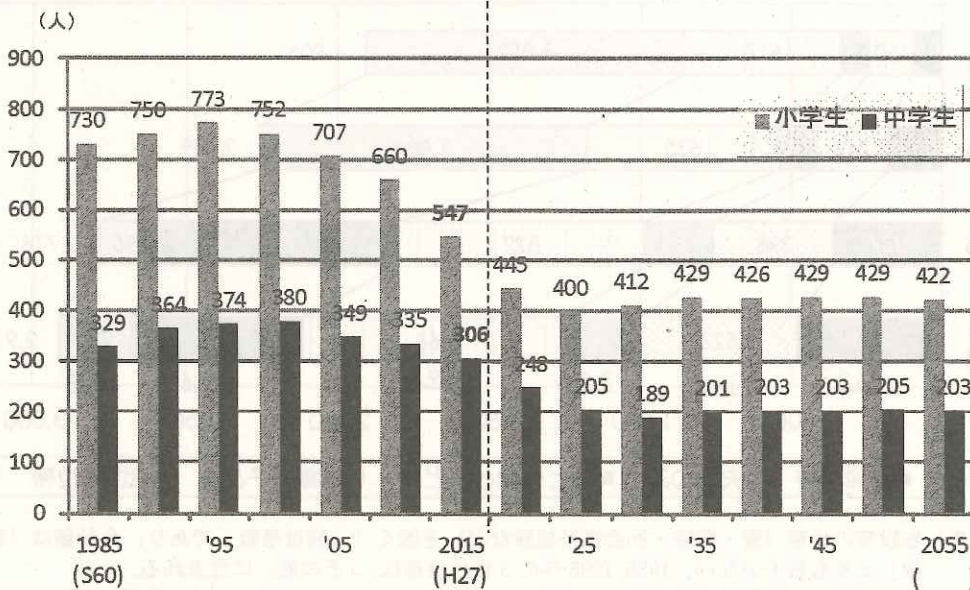
シナリオ1に比べて・・・

- 毎年さらに10組の〔30代前半夫婦と4歳以下の子ども〕が転入 =30(人)
- 毎年さらに10組の〔20代前半夫婦〕が転入 =20(人)

● 年齢3区分別 (1985実績 - 2055推計)



● 小・中学生人口 ※ (1985実績 - 2055推計)



備考) ※は5歳階級別人口を基にした概算値であり、実際の小・中学生の数とは若干のずれがある。

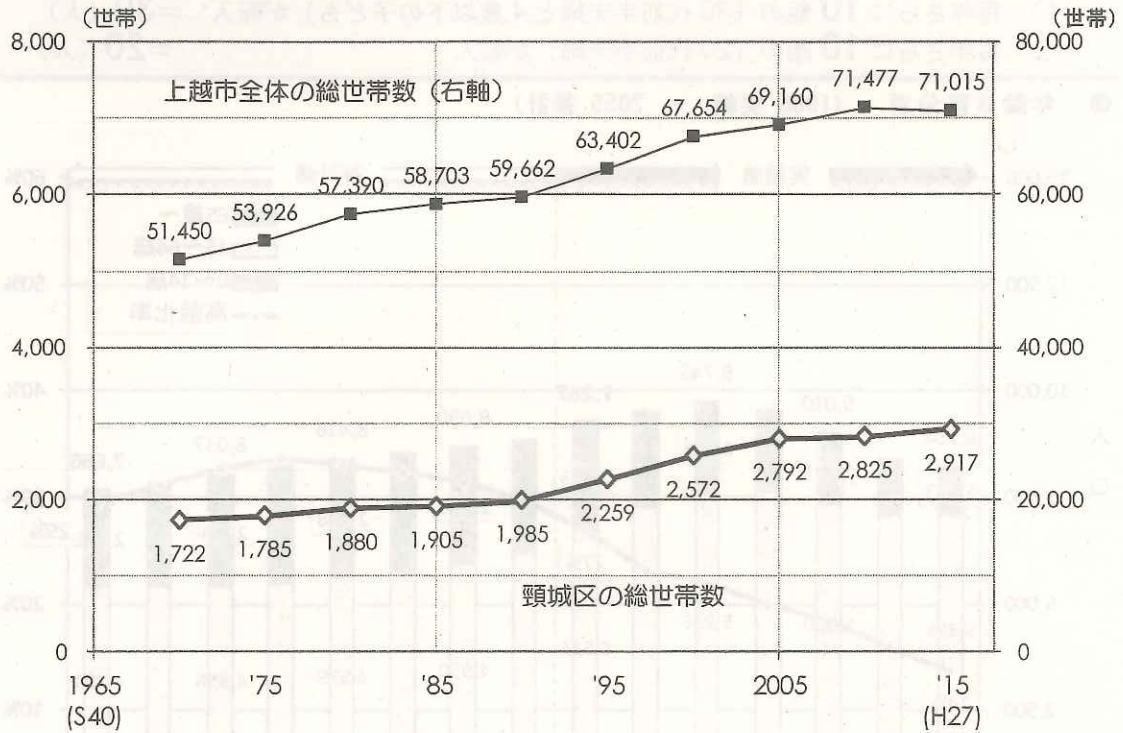
資料) 総務省「国勢調査」及びコーホート変化率法による推計値をもとに作成

4 世帯数

● 区の世帯数はどのように変化してきたか？ 上越市全体と比較してどうか？

図 11 総世帯数の推移

頸城区・上越市 1970~2015

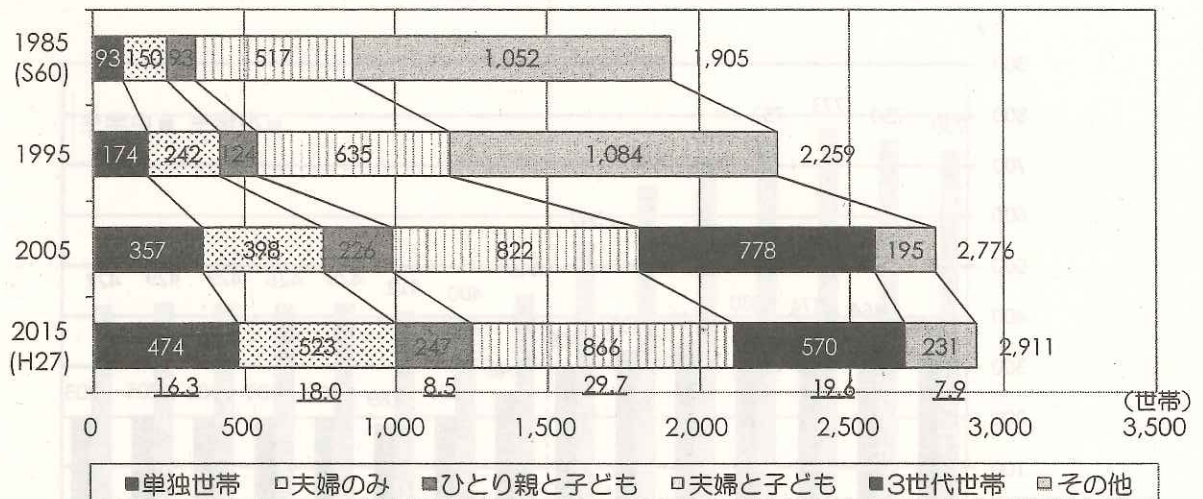


資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

● 区の世帯構成はどのように変化してきたか？ 他の区と比較してどうか？

図 12 世帯構成の推移

頸城区 1985~2015



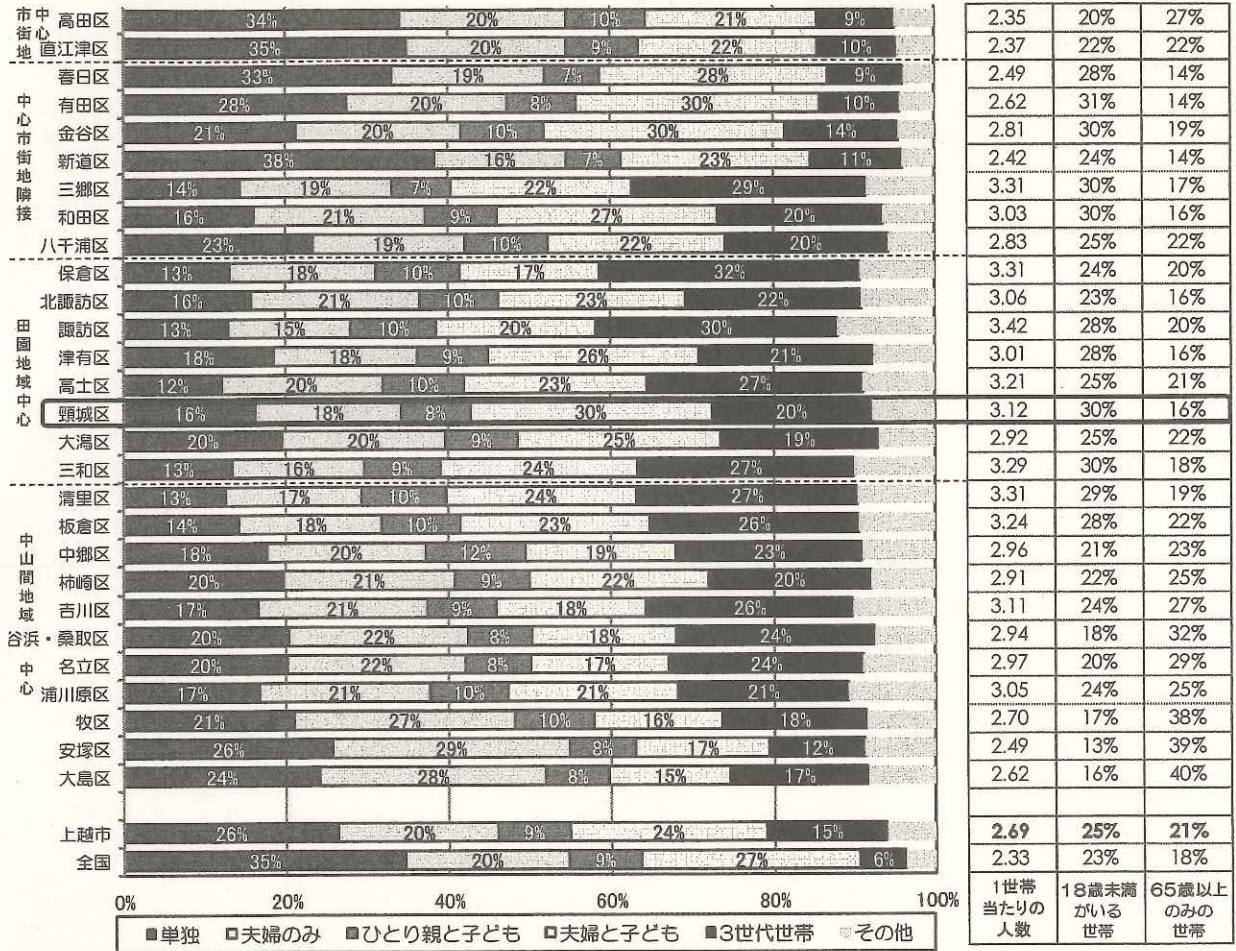
備考) 施設等の世帯(寮・病院・社会福祉施設など)を除く「一般世帯数」であり、合計値は「総世帯数」よりも若干少ない。1985、1995年の3世代世帯は、「その他」に含まれる。
集計方法の制約上、数世帯程度の誤差が生じる場合もある(小地域集計の秘匿計算によるもの)。
2015年の棒グラフ下の数値は、全体に占める割合(%)を示す。

資料) 総務省「国勢調査」をもとに作成

図 13 世帯構成の比較

市内 28 区

2015



備考) 施設等の世帯(寮・病院・社会福祉施設など)を除く「一般世帯数」の内訳を示した。
 資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」をもとに作成

新潟県南部産業団地の現状について（報告）

資料No.7

頸城区地域協議会資料
 頸城区地域協議会資料
 令和元年10月28日
 上越市産業立地課
 頸城区総合事務所

◆ 新規土地取得（2件）

○ 進出企業の概要

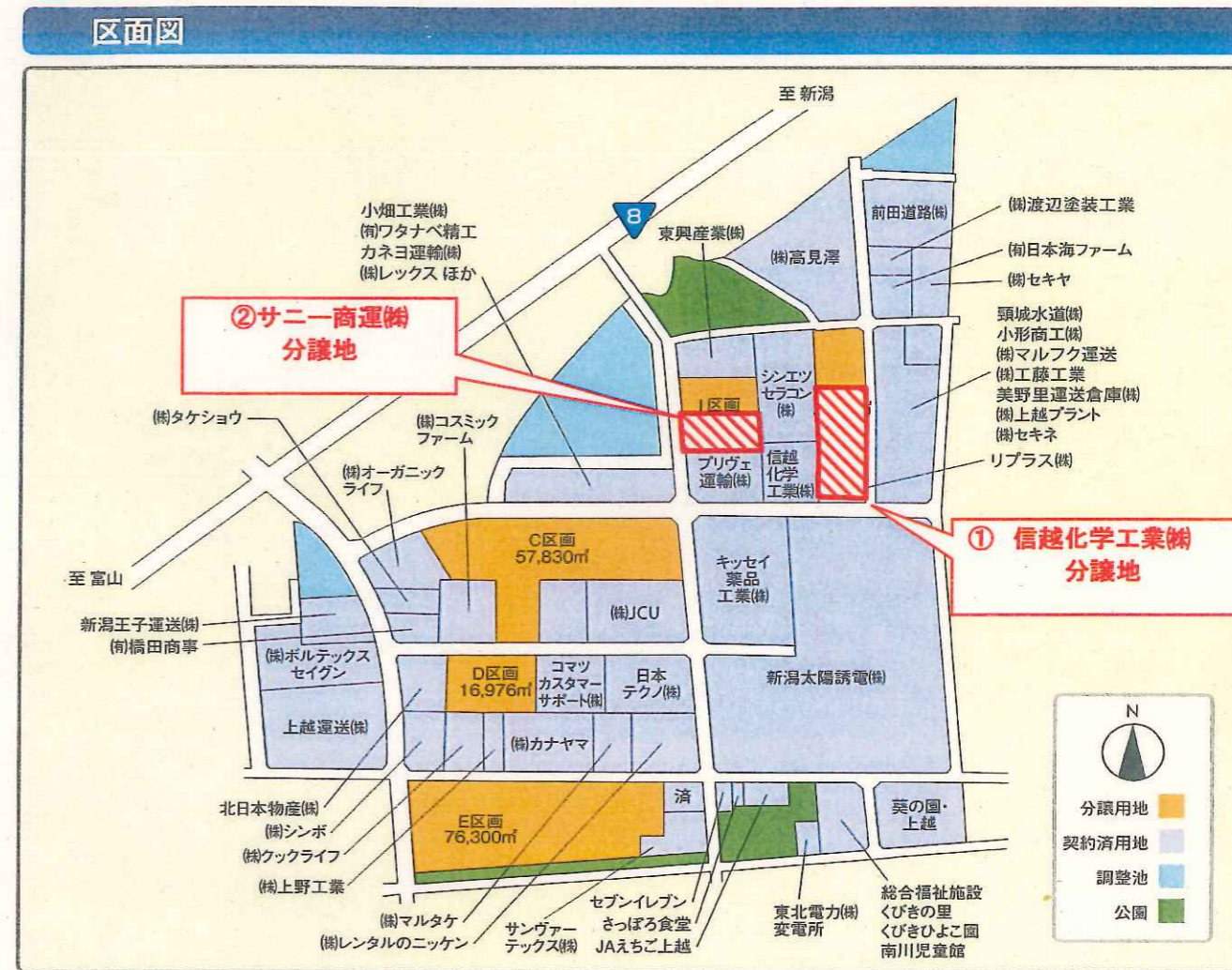
① 企業名：信越化学工業(株)
 本社所在地：東京都千代田区大手町2-6-1
 業務内容：化学工業（塩化ビニル樹脂、シリコン、合成石英等の製造）
 取得面積：17,050.00 m²（令和元年9月申込）
 目的：製品倉庫の拡張用地（予定）として取得するもの。
 契約締結日：令和元年9月26日

② 企業名：サニー商運(株)
 本社所在地：新潟県胎内市高野字茨島249-401
 業務内容：道路貨物運送業（化学会社の原材料等の輸送）
 取得面積：8,190.37 m²（令和元年9月申込）
 目的：上越営業所（上越市黒井）の移転、拡張用地（予定）として取得するもの。

◆ 分譲実績（平成29年度～）

年度	企業名	分譲面積
平成29年度	(有)日本海ファーム	4,958.69 m ²
	(株)工藤工業	1,000.02 m ²
	サンヴァーテックス(株)	3,026.30 m ²
平成30年度	美野里運送倉庫(株)	1,743.22 m ²
	東興産業(株)	9,917.38 m ²
	コマツカスタマーサポート(株)	14,000.03 m ²
	(株)渡辺塗装工業	3,638.95 m ²
	(株)上野工業	3,572.21 m ²

◆ 位置図



◆ 参考

○ 新潟県南部産業団地の分譲状況（今回の新規土地取得含む）

工場用地面積	契約企業数	分譲済面積	分譲率	差引面積
916,000.00 m ²	50社	646,358.81 m ²	70.56%	269,641.19 m ²